

6年

画竜点睛



- 主体的・協働的に課題に取り組み、自分の思いや考えを広げることができる子（知育）
- ルールや規律を守り、感謝や思いやりの気持ちをもって友達と関わる子（徳育）
- 最高学年としての自覚と責任をもって、自分の役割を果たすことができる子（体育）

経営方針

- 児童一人一人が自由に表現できる学級の雰囲気づくりをするとともに、個々の児童のモチ味を生かす場面を設ける。
- 学力をしっかりと身に付けさせるため、基礎・基本の徹底を図るとともに、教え合う大切さを知らせる。
- 学級全体や異学年で活動する機会を活かしたり、意図的に設けたりして、友達との関わりを深めるとともに、最高学年としての自覚を促す。
- 自分の考えや行動に責任を感じ、向上するための目標をもち、前向きに努力する態度を育てる。

各教科

- ・話し合い活動の中で、聞く力や話す力を高め、自己の考えを広げたり深めたりできるようにする。
- ・社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるように指導する。
- ・算数には様々な解き方があることを理解させ、多様な考え方ができるようにするとともに、途中の思考を大切に問題解決に取り組ませる。
- ・学習内容から自らの課題を見だし、予想や仮説、計画に基づいた観察や実験などを行う授業を実施する。
- ・日々の生活が、人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝する気持ちをもたせるとともに、それにこたえる実践への意欲付けを図る。
- ・聞くこと、話すことの言語活動を通して、外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。

学級活動・生徒指導

【学級活動】

- ・最高学年としての自覚をもたせ、けじめのある態度、場にふさわしい行動を常に意識させる。また、目標に向けて、友達と力を合わせ努力する過程を大切にさせ、常に挑戦していこうとする気持ちを育てていく。
- ・友達のよいところを認め、相手を大切に思う気持ちを高めるため、帰りの会などで、友達のよいところを見つける目を養う。（さすがの花の作成）
- ・よいと思ったことは進んで行動できるように支援する。

【生徒指導】

- ・いじめや仲間外しを断固として許さないという強い意識をもたせる。
- ・トラブルの未然防止・早期発見・早期対応を心がけ、互いが納得して解決できるように努める。

総合的な学習の時間

テーマ 国際理解『開こう！世界へのとびら』

ねらい 世界の国々の生活や文化を知り、国際社会の中から日本を見る視点をもつ。
国際社会の一員として、自分たちにできることを考え、伝える。

